



棚

田

# ライステラス

全国棚田(千枚田)連絡協議会

第52号 2009.8.5  
(年3回発行)

発行/全国棚田(千枚田)連絡協議会

編集/ふるきやらネットワーク

〒184-8577 東京都金井市本町6-5-3ふるさときゃらばな内

TEL:042-381-6721 / FAX:042-383-8614

<http://www.yukidaruma.or.jp/tanada/>



佐賀県玄海町浜野浦の棚田。第8回(2007)三元気です!玄海町フォトコンテスト 玄海町長賞「二人の棚田」椎葉国忠さん(熊本県球磨郡)撮影



# いとおいしい時間をみつめる

哲学者 内山 節

## Message

風土とは自然の時間と人間の時間が蓄積されて生まれたものだと思う。自然の営みと人間たちの営みが相互性をもちながら展開してきた歴史、それが風土をつくりだした。だから風土の破壊は歴史の破壊であり、自然の破壊、人間たちの営みの世界の破壊である。

おそらく私たちはこのことを無意識のうちに知っているであろう。だから風土が壊れていくとき、そこに「悲しさ」や「寂しさ」を感じる。文明の発展にとっては仕方のないことだと考えている人でも、どこかに割り切れないものを感じていたりもする。

現在私たちが問いなおしはじめたものは、そんな「悲しさ」や「寂しさ」を感じながらもさまざまなものを切り捨ててきた、私たちのこれまでの生き方である。そこから風土への思いや自然の営みに対する「懐かしさ」を伴ったまなざしが生まれてきた。かつて過去のものにしようとした歴史が、現在進行形のものへと戻ってきたのである。棚田を貴重なものだと感じる心情もこうして広がってきたのだろう。自然と人間の営みの時間が蓄積された場としてわたしたちは棚田を見つめ、そこに失ってはいけな

とつ原風景があると感じるようになった。

近代世界は自然を通過するもの、通り過ぎるものとして捉えた。時間は消費されていくものになり、その消費効率を競うようになったのである。こうしていま私たちの生きている世界が生まれた。そのとき失われたのは時間が蓄積されてつくられる世界であった。だからこの時代は自然が破壊される時代でもあった。なぜなら自然は過去の時間蓄積の上に現在の生態系の世界を築くかたちで営まれているからである。時間蓄積を否定されてしまえば、自然の世界は壊れてしまう。だがそれは自然に対してだけ起きたのだろうかといま私たちは疑っている。時間が蓄積されていく世界が否定されたとき、人間もまた壊されはじめていたのではないかと。

時間を消費対象にしてしまった人間は、自分をも消費対象に変え、ついにはすべてを消費対象にする世界をつくりだしてしまったのではないかと。

そんな気持ちをいだきながら私たちは現在の世界をみている。だから自然や風土がいとおいしいものになった。そしてわたしたちは問うている。ここから何が生まれていくのだろうか。

棚田地域や棚田のファンになってもらうには、まずは実際に歩いてみてから。歩いてこそ見えてくるもの、感じる風、出会う人、風景があります。そんな思いで全国各地で行われている棚田ウォーキングや棚田ウォーク。地域の活性化や棚田米の販売など、効果も期待されています。

棚田ウォーキングには、棚田を現代に生かす新しいアイデアがいっぱい。全国でどんな「棚田歩き」が行われているのか、一挙公開です！

# 特集 棚田を歩く！



佐賀県唐津市「早苗と棚田」ウォークin蔵野



佐賀県唐津市肥前町「峠めぐり棚田ウォーク」



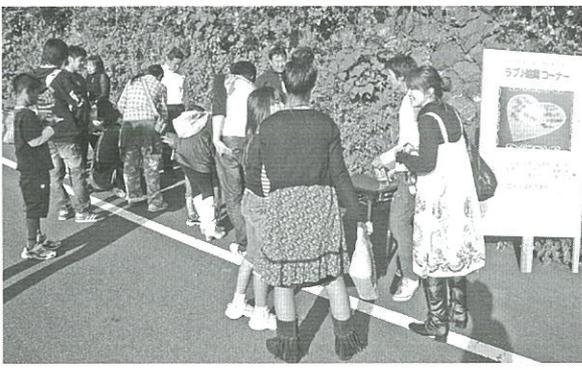
## 佐賀県玄海町浜野浦の棚田 棚田が恋人たちの聖地に！ 「一緒に歩きたいのは誰ですか？」

佐賀県玄海町浜野浦ウォークラリーは、棚田にハートがいくつか飛び交う仕掛け。「ピュアラブ応援祭」と称し、カップルには特典付きで、恋人たちが棚田に集まってくるイベントなのだ。

佐賀県玄海町浜野浦は、空と海、そして棚田が夕日に染まる美しいスポット。恋人たちが愛を語るにふさわしい場所であるとして、佐賀県初「恋人の聖地」の認定を受けたことがきっかけとなった。「恋人の聖地」とは、地域活性化・少子化対策として、NPO法人地域活性化支援センターが手掛けている「恋人の聖地プロジェクト」（2006年〜）によるもの。全国100カ所程度を「恋人の聖地」として認定していくというものが、浜野浦の棚田は全国で44番目に選ばれた。

これを受けて平成19年度にスタートしたこのイベント。浜野浦の棚田のなかを恋人たちをはじめ、多くの人々に歩いてもらうことで、素晴らしい景色をもっと知ってもらい、地域の誇りや活性化につなげていこうと町民の有志でプロジェクトを立ち上げた。ウォークラリーの参加資格は誰でもOK。特に、カップルに人気なのが棚田と玄界灘を一望できる場所にある、ハートと鐘がモチーフの「恋人の聖地」モニュメント前での記念撮影。美しい眺めに包まれ、愛が深まること間違いなしだ。

右..年配者もいます。胸のナンバークードもハートです！  
左..おにぎりだつて、ウエディングケーキの装い。  
右..ラップ絵馬を描くコーナーもあります！  
下..2007年には、結婚式のイベントも同時開催。モニュメントの前で



- DATA**
- ・名称：ピュアラブ応援祭
  - ・主催者：玄海町恋人の聖地プロジェクト
  - ・開催場所：佐賀県玄海町 浜野浦の棚田
  - ・交通アクセス：博多駅からJR唐津線で唐津駅（約60分）へ。唐津駅よりバス利用で浜野浦バス停下車。もしくはタクシーで約20分
  - ・開催時期：不定期年1回。実績10月28日（H19年度）、3月29日（H20年度）
  - ・問い合わせ先：玄海町恋人の聖地プロジェクト TEL：0955・51・3007
  - ・コースの長さ所要時間：2.3km 約2時間
  - ・参加費：1000円（2009年）
  - ・参加資格及び定員：男女年齢問わず誰でも。200名
  - ・コースマップ：有
  - ・ガイド：無
  - ・農産物販売：無

本格的な棚田ウォーキングを全国でも先駆けてはじめてのが佐賀県唐津市（旧相知町）の蕨野の棚田。田植え後の早苗がすくすくと育つ時期に、心地よい里山に親しみながら、心と体の癒しを体験してほしいと毎年この時期に開催される。

平成13年から取り組み、今年6月14日（日）に9回目を終えたところ。当時、単独のウォーキングイベントを棚田で開催して、果たして人が集まるかどうか不安だったというものの、いざ開催してみるとウォーキングに関心のある人たちも大勢参加し、毎年400人近い人々が集まる人気イベントに。固定ファンに限らず、新規来訪者が増え、人気の高い棚田ウォーキングだ。

ウォーキングは棚田を一周するので、城壁のような棚田のほか、日本一の高石積みを感じることができる。また、急傾斜を歩くため、昔の人の苦労が身にしみてわかる。朝10時半にスタートし、コース途中の棚田が一望できる展望所など、思い思いの場所で昼食の棚田米おにぎりをほおぶることができる。棚田で食べるおにぎりはまた格別。そして、ゴールではスイカのサービスやお土産が待っている。

ウォーキングだ。

また、棚田米「蕨野」は限られた数しかないため、毎年、このイベントで確実に入手する固定ファンも多い。ウォーキングイベントで地域のファンを増やしなから、それを確実に地元棚田米の販売やPRにつなげていく。

棚田のなかにガイドはいないものの、途中途中で地元の方々による給水ポイントがあり、そこでの会話を楽しむのもいい。また、給水用にコップを持参を呼びかけるなど、環境にも配慮されたイベントとなっている。

また、棚田米「蕨野」は限られた数しかないため、毎年、このイベントで確実に入手する固定ファンも多い。ウォーキングイベントで地域のファンを増やしなから、それを確実に地元棚田米の販売やPRにつなげていく。



## 佐賀県唐津市蕨野の棚田

田植え後の棚田で心と体を癒す  
棚田米「蕨野」の販売も！

田植え後の棚田で心と体を癒す  
棚田米「蕨野」の販売も！

- ・名称：「『早苗と棚田』ウォーク in 蕨野」
- ・主催者：棚田と菜の花実行委員会
- ・開催場所：佐賀県唐津市（旧相知町）蕨野の棚田
- ・交通アクセス：博多駅からJR唐津線相知駅（約80分）へ。タクシーで20分（平日、土曜日は巡回バスの利用も可）
- ・開催時期：毎年6月中旬
- ・問い合わせ先：棚田と菜の花実行委員会（唐津市相知支所 総合支援課内）TEL：0955・53・7125
- ・コースの長さ所要時間：約7km 2～3時間 ・参加費：小学生以上1000円（幼児無料）
- ・参加資格及び定員：誰でも。400人
- ・コースマップ：有（棚田遊歩マップ） ・ガイド：無 ・農産物販売：有

DATA

## 岡山県美咲町大井和西の棚田

町が仕掛けた大ヒットご飯  
「たまごかけごはん」と相乗効果



岡山県美咲町がいま、熱い。というのも、町の産業課が仕掛けた「たまごかけごはん」が大人気なのだ。平成20年1月に、町役場近くにオープンした「たまごかけごはん」専門店、「食堂かめつち」は、県内外からのお客で行列ができて、地元の人にはなかなか行けない状況だとか。ちなみにメニューは、「たまごかけごはん」と漬物程度しかないのだが、すべて地元の食材でまかなわれ、地場のおいしさにリピーターが続出しているという。

しかも、お米は地元の棚田米限定。食べたお客はあまりのおいしさに、お店から近い大井和西の棚田へと足を運び、その現場を見に行くのだそうだ。

こうした追い風を受け、平成15年から岡山県美咲町と棚田保存地区連絡協議会が主催し、「田植え終了後の次の日曜日」

に開催している「棚田きんちゃんまつり」も大人気。ちなみに、棚田保存地区連絡協議会は、日本の棚田百選に選ばれた大井和西の棚田（旧中央町）をはじめ、美咲町にある7つの棚田地区の農家の集まりで平成15年に結成された。

祭りの会場は、7つの棚田地区のなかでも大型バスが棚田のなかに入る大井和西の棚田。いまや、「たまごかけごはん」から火がついた棚田人気も、棚田へと人呼び、今年5月31日の棚田祭りには、1000人が大井和西の棚田に集うほど。

「たまごかけごはん」やモロコシの天ぷらなどが楽しめるほか、「棚田稲架かけ天日米」の直販など地場の限定米も入手できる。

主立ったイベントは、棚田内でのコンサートだが、棚田散策も平成20年からプログラムに組み込まれ、1〜6kmで設定したコースを参加者が自由に選び、1〜2時間で棚田のなかを歩くフリーウォークが行われている。「たまごかけごはん」とともに棚田に元気印があがっている美咲町にご注目あれ！

- ・名称：「棚田ぶらり散策」「棚田ウォーク」（棚田きんちゃんまつり内）
- ・主催者：棚田保存地区連絡協議会・美咲町
- ・開催場所：大井和西の棚田（旧中央町）
- ・交通アクセス：岡山駅から、JR津山線で亀甲駅（約60分）へ。タクシーで25分
- ・開催時期：田植え終了後の次の日曜日（H20年6月1日、H21年5月31日）
- ・問い合わせ先：岡山県美咲町産業課 TEL：0868・66・1118
- ・コースの長さ所要時間：1〜6km 1〜2時間
- ・参加費：無料 ・参加資格及び定員：健康な方ならどなたでも
- ・コースマップ：有 ・ガイド：無 ・農産物販売：有（美咲町物産センター）

DATA

長崎県波佐見町の棚田ウォークラリーは定評がある。平成13年から棚田まつりのなかに取り入れ、今年で9回目を迎える。日本の棚田百選の鬼木棚田で毎年秋分の日（9月23日）に開催される棚田まつり。来場者はなんと5000人にも及ぶというからスゴイ。棚田ウォークラリーは鬼木棚田のなか約2kmを30〜40分かけて、途中クイズやゲームに挑戦しながら歩くというのだが、その眺めが普段以上に素晴らしい。

同時に行われている案山子コンテストのユニークさと多彩さが際立っているのである。つまり、鬼木棚田の棚田ウォークラリーは、案山子を見て歩くオープンギャラリーとなっている。展示される案山子の数、毎年約1000体。コンテストだけに競い合う地元農家など作者たちの

気迫とアイデアに、笑いと敬服の念がこみあげてくる作品ばかり。毎年、政治やオリンピックなどその年を風刺したもの、ブームとなった映画、またイノシシや農作業など暮らしに密着した作品も登場する。さらには、陶磁器の里だけに案山子の頭が陶製だったり……。精巧さが人気で、作品タイトルもおもしろく、見る側をまったく飽きさせない。棚田から笑い声がこだまする、こんなステキなウォークラリーを仕掛けているのは、もちろん地元農家のみならず（鬼木棚田協議会）である。

また、2年前からJR九州とNPO法人との連携で棚田まつりの翌週に「JRウォークラリー」も開催されており、鬼木棚田をメインに約10kmのコースで約1300人が参加。JR九州管内の数多くのコースのなかで、上位5位に入る人気コースだとか。

## 長崎県波佐見町鬼木棚田

案山子100体、百花繚乱！  
棚田ウォークラリーで楽しむ



「ローマの休日」ならぬ「老婆の休日」

- DATA**
- ・名称：「棚田ウォークラリー」（鬼木棚田まつり内）
  - ・主催者：鬼木棚田協議会（共催：長崎県）
  - ・開催場所：長崎県波佐見町鬼木郷内
  - ・交通アクセス：博多駅からJR佐世保線・有田駅下車（約75分）。有田駅からタクシーで15分
  - ・開催時期：秋分の日（9月23日）
  - ・問い合わせ先：鬼木棚田協議会事務局（波佐見町役場内）TEL：0956・85・2111
  - ・コースの長さ所要時間：約2km 30〜40分
  - ・参加費：500円
  - ・参加資格及び定員：先着100組（1組1人〜5人）
  - ・コースマップ：有
  - ・ガイド：無
  - ・農産物販売：有



「政権ホーキ」



「消火栓の前で言うのも何ですが」

平成18年9月10日に岐阜県恵那市中野方町にある坂折棚田を舞台に開かれた「坂折棚田探検ツアー」。県の「ふるさと農山村魅力再発見バスツアー」運行事業の一環として実施され、子どもを含む都市住民41名が参加した。

1日限りのツアーで、午前中、坂折棚田を2時間ほど歩き、午後は地元伝統和菓子「からすみ」づくりを体験。棚田探検ではQ&A形式の冊子を手にとり、坂折棚田の謎を解きながら歩く仕掛けを用意。恵那市坂折棚田保存会のメンバーも協力し、参加者に棚田の持つ多面的機能を知ってもらう良い機会となった。

島根県吉賀町（旧柿木村）の大井谷の棚田では平成10年から毎年10月中旬に「大井谷棚田まつり」が開催されている。この一環として行われている「棚田スローウォーク」。名称からも車ではなくゆっくりとした気分を棚田を歩いてもらい、秋の美しい風景を楽しんでほしいという主催者である地元農家の思いがうかがえる。

コースは1km程度で約30分歩くのだが、途中、棚田のなかに文字を書いたパネルが設置され、この文字すべてを並び替えるとその年のキーワードに。キーワードの正解者には、抽選で棚田米などがプレゼントされる。

また、祭りのなかでは石見神楽の奉納もあり、大迫力の伝統芸能に感動すること請け合いである。



## 島根県吉賀町大井谷の棚田

棚田はスローウォークで。ゲーム心を取り入れて

- DATA**
- ・名称：「棚田スローウォーク」
  - ・主催者：助ほんどうの会
  - ・開催場所：島根県吉賀町（旧柿木村）大井谷棚田全域
  - ・交通アクセス：JR山陰線益田駅から石見交通島行きバス（約60分）で白谷橋下車。徒歩30分/JR広島駅から石見交通益田行きバス（約130分）で白谷橋下車。徒歩30分
  - ・開催時期：毎年10月中旬
  - ・問い合わせ先：島根県吉賀町産業課 TEL：0856・79・2213
  - ・コースの長さ所要時間：1km程度 約30分
  - ・参加費：無料
  - ・参加資格及び定員：30名程度
  - ・コースマップ：無
  - ・ガイド：無
  - ・農産物販売：有

## 岐阜県恵那市坂折の棚田

平成18年に県主催で「坂折棚田探検ツアー」

- DATA**
- ・名称：「坂折棚田探検ツアー」（現在は開催していない）
  - ・主催者：岐阜県
  - ・開催場所：岐阜県恵那市中野方町坂折棚田
  - ・交通アクセス：名古屋駅よりJR中央本線恵那駅（約60分）へ。恵那駅からタクシーで約25分
  - ・開催時期：平成18年9月の1度だけの開催。今後の開催予定不明
  - ・問い合わせ先：岐阜県恵那市 農業振興課 TEL：0573・26・2111（内545）
  - ・コースの長さ所要時間：約5km 2時間
  - ・参加資格及び定員：41人参加
  - ・コースマップ：有
  - ・ガイド：有
  - ・農産物販売：無

本格的なウォーキングにチャレンジしながら、棚田や海まで楽しめてしまうのは、佐賀県唐津市肥前町のウォーキング。昨年までは「島めぐり棚田ウォーク」として、11回続けられてきたウォーキングが今年リニューアルされた。

というのも、今までは玄海国定公園や景勝地のいろは島も楽しめるよう日本で唯一、船にも乗るウォーキングコースが組まれていたが、今年の4月、肥前町と長崎県の鷹島とのあいだに鷹島肥前大橋が開通し、利用できるフェリーがなくなったのだという。

そこで、今年はこの橋を展望したり、町中に広がる棚田を散策する「岬めぐりウォーク」が新たに考案された。ウォー

キング開催は変わらず、毎年5月中旬の土曜日。コースは約12kmで日本の棚田百選にも選ばれている「大浦の棚田」を眺めるほか、今年は「入野の棚田」のなかを散策。この棚田散策がたいへん好評だったという。

またゴール後に、ぜんざいやきなこ餅、白身魚の練り物を揚げた「はまたん」のみそ汁など地元の味も堪能できるうれしいおもてなし。参加者は多く、今年は100数十人。リピーターも多く、根強い人気がある。来年は別の棚田地区を歩くコースを設定したいとのこと、年ごとに、肥前町に広がるさまざまな棚田を見て回るようになる。新たな魅力が加わり、地域の活性化にもつながっている。

平成6年から長崎県雲仙市と島原市を舞台に開催されている「島原半島ツーデーマーチ」。第15回目となった昨年、全国各地から900人が訪れ、2日間島原半島を歩きに歩いた。そこに「第14回全国棚田サミット」開催（長崎市・雲仙市共催）を記念して「岳棚田と湧水を巡る20kmコース」が実施された。

全国棚田サミットの見学会でも巡った千々石町岳地区の棚田を通るコースが織り込まれ、雲仙市内を約5時間かけて歩き、367人が参加した。サミット開催の記念コースということで、今年は岳棚田を歩くことはいったいが、昨年実施したときに好評だったことから、来年度以降のコース設定も検討されているとのこと。今後が楽しみである。



## 長崎県雲仙市岳棚田と湧水 平成20年「島原半島ツーデーマーチ」に「岳棚田」登場

- ・名称：「岳棚田と湧水を巡る20kmコース」
- ・主催者：島原半島ツーデーマーチ実行委員会
- ・開催場所：雲仙市内（千々石町岳棚田）
- ・交通アクセス：JR諫早駅もしくは島原鉄道島原駅から、島原鉄道バス利用で橋神社前もしくは千々石第一小学校前で下車。そこから雲仙市乗合タクシー利用で上岳へ。
- ・開催時期：毎年10月第4土日開催（H21年10月24、25日開催予定）
- ・問い合わせ先：島原半島ツーデーマーチ実行委員会（島原温泉観光協会内） TEL：0957・63・5561
- ・コースの長さ所要時間：20km 約5時間 ・参加費：大人2000円 中高生1000円（昨年は記念大会で500円）小学生以下は無料
- ・参加資格：体調が良く健康な人（小学4年生以下は保護者同伴）なら誰でも参加可能

## 佐賀県唐津市肥前町の棚田

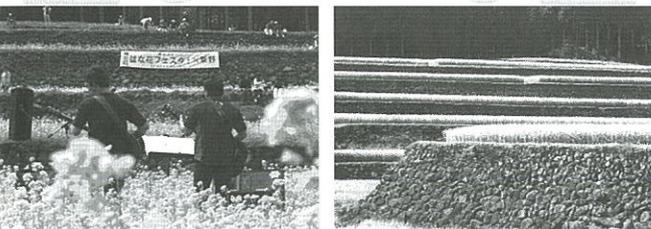
### 昨年までは「島めぐり棚田ウォーク」。 今年からは「岬めぐり棚田ウォーク」に

- ・名称：「岬めぐり棚田ウォーク」
- ・主催者：肥前町棚田ウォーク実行委員会
- ・開催場所：佐賀県唐津市肥前町内の棚田
- ・交通アクセス：JR唐津駅から徒歩5分のバスセンター（昭和バス）より切木経由肥前町方面バス「入野」下車（約40分）。
- ・開催時期：毎年5月中旬の土曜日
- ・問い合わせ先：肥前町棚田ウォーク実行委員会 唐津市肥前支所 総合支援課 産業振興係 TEL：0956・53・7145
- ・コースの長さ所要時間：約12km 3時間 ・参加費：大人1000円 小・中学生500円
- ・参加資格及び定員：200名 ・コースマップ：有 ・ガイド：有 ・農産物販売：有

DATA

鹿児島県湧水町では、平成17年度から毎年3月下旬に幸田の棚田とその周辺を歩く「日本棚田百選」ウォークin幸田」が行われている。「隠れ念仏堂」「薩摩街道」「田の神さあ」など薩摩文化あふれる地域のお宝スポットを10カ所ほどまわり、終点が「幸田の棚田」という約3kmのコース。おもしろいのは、チェックポイントのたびに地域にまつわるクイズに回答すること。さらにゴールでおみくじを引き、クイズの正解ポイントにおみくじポイントが加わり、高得点者に賞品プレゼントというユニークな仕掛け。そのほか、キンギョ草狩りや棚田でのミニコンサートもあり、毎年2000人ほどが集まる。棚田米のおにぎりや豚汁なども振る舞われ、春の心地よい幸田を堪能できる。

## 鹿児島県湧水町幸田地区の棚田 幸田地区の名所を巡り、薩摩文化を満喫



- ・名称：「日本棚田百選」ウォークin幸田
- ・主催者：湧水町観光協会
- ・開催場所：鹿児島県湧水町幸田（旧栗野町）
- ・交通アクセス：鹿児島駅からJR肥薩線（60分）栗野駅下車 タクシーで20分 鹿児島空港から栗野までバス有（約30分）
- ・開催時期：毎年3月下旬（H20年度は3月22日）
- ・問い合わせ先：湧水町観光協会 TEL：0995・74・3111（内2222）
- ・コースの長さ所要時間：約3km 2時間 ・参加費：1000円
- ・参加資格及び定員：200人 ・コースマップ：無 ・ガイド：無 ・農産物販売：有

DATA

福岡県東峰村は、平成18年から「ウォーキング王国」として、キャラクター「歩王(あるきんぐ)」を設定し、村をあげてさまざまなウォーキングイベントを行っている。かねてから村内で行われていたさまざまなウォーキングを一つにまとめ、年間を通して村を訪れてもらうよう企画したという。

平成21年度は8つのウォーキングが開催されている。ちなみに平成19年度は毎月開催され、年間利用できる「ウォーキングガイドブック」も作成・配布された。今年度は、スタンプを集めるカードが用意され、ウォーキングに参加してスタンプを集めるとその数に応じて景品が抽選でプレゼントされる。景品は、東峰村産のお米や小石原焼きなど地元産物だ。

年8回のウォーキングのうち、随所に棚田が広がる宝珠山エリア(旧宝珠山村)を歩き、棚田に触れられるウォーキングは「ほたるウォーキング」「岩屋公園岩めぐりウォーキング」「秋祭りウォーキング」「早春ウォーキング」の4つ。先の6月6日(土)に開催された「ほたるウォーキング」は、夕方スタートで日本の棚田百選の「竹地区の棚田」まで歩くのだが、途中、棚田親水公園で開催されているほたる祭(宝珠山ほたるを育てる会主催)を通り、ステージイベントも楽しめる仕掛け。日が落ちれば、いたるところで乱舞するホタルの姿も。

## 福岡県東峰村竹地区の棚田へ(宝珠山地区)

### 歩王(あるきんぐ)の村! 「東峰村ウォーキング」でスタンプ集め

- ・名称:「東峰村ウォーキング」 ・主催者:福岡県東峰村
- ・開催場所:福岡県東峰村宝珠山地区
- ・交通アクセス:博多駅より(特急利用)JR久留米駅→夜明駅経由でJR久大本線・筑前岩屋駅(約90分)下車。棚田親水公園まで徒歩15分/天神バスセンター(高速バス利用)→杷木(西鉄バス小石原行に乗換え)→大行司(約90分)下車。棚田親水公園まで徒歩20分
- ・開催時期:6月、9月、11月、2月(H21年度)
- ・問い合わせ先:福岡県東峰村 企画振興課 TEL:0946・74・2311
- ・コースの長さと所要時間:約7km 約3時間(ほたるウォーキングの場合)
- ・参加費:「ほたるウォーキング」は無料。ウォーキングによっては有料
- ・参加資格及び定員:ウォーキングにより定員があり、事前申し込み要 ・コースマップ:有
- ・ガイド:ウォーキングによる(「岩めぐりウォーキング」は有) ・農産物販売:有(ウォーキングによる)

DATA

また、9月27日(日)開催予定の「岩屋公園岩めぐりウォーキング」は、ガイドとともに奇岩や岩屋神社をめぐる3時間のコースだが、見晴らし岩に登るとそこは「竹地区の棚田」を一望できる絶景のビュースポット。限定50人で少々険しいところもあり、健脚が必要だが、普段とは違う景色に出会えること請け合いだ。さらに11月1日(日)「秋祭りウォーキング」、2月(未定)「早春ウォーキング」が竹の棚田の展望台を通るコースを含むウォーキングとなっている。そもそも地域全体が棚田をはじめ、美しい山里の風景に包まれている宝珠山エリア。棚田百選のである竹地区の美しい

平成16年から毎年5月下旬に開催されている「小京都『小城』ホテルの里ウォーク」は、800人を超える人が参加する大規模なイベント。コースは6km、10km、20kmと3種類が用意され、体力に応じて楽しめる。20kmコースに日本の棚田百選にも選ばれている「江里山棚田」がある。秋の曼珠沙華が有名な江里山棚田だが、田植時期の水を張った棚田も美しい。保健福祉センター「桜葉館」をスタートし、五百羅漢や清水の滝・清水観音、江里山七曜の滝、江里山棚田・江里山観音、千葉城址など小城市の歴史や自然にふれあいながら歩くコース。また、ウォーキング後のコンサートや祇園川沿いのホテル観賞なども魅力の一つとなっている。

## おぎ 佐賀県小城市江里山の棚田まで 20kmコースに江里山の棚田 「小京都『小城』ホテルの里ウォーク」

- ・名称:「小京都『小城』ホテルの里ウォーク」
- ・主催者:小京都『小城』ホテルの里ウォーク実行委員会
- ・開催場所:佐賀県小城市小城町
- ・交通アクセス:博多駅から(特急かもめ利用)佐賀駅にてJR唐津線に乗り換え、小城駅(約60分)下車。小城公園グランドまで徒歩10分
- ・開催時期:毎年5月下旬
- ・問い合わせ先:小城市 商工観光課 TEL 0952・73・8813
- ・コースの長さと所要時間:6km、10km、20km 20kmでは5~6時間
- ・参加費:1500円(当日1800円)、高校生以下700円(当日1000円)
- ・参加資格及び定員:H21年度は818人参加
- ・コースマップ:有
- ・ガイド:無
- ・農産物販売:有

DATA

2009年度 東峰村ウォーキングめぐせ!  
あるきんぐあKing

ウォーキングカードに付添の冊子にスタンプを集めて記念品をゲットしよう!

●2009年度ウォーキングカレンダー

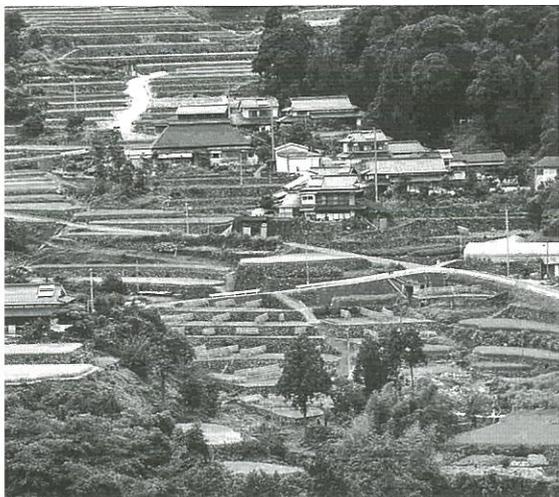
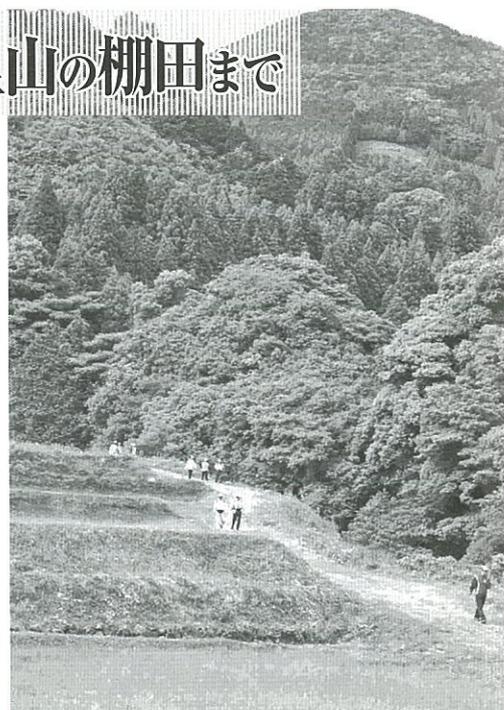
|           |            |
|-----------|------------|
| 4月29日(日)  | ほたるウォーキング  |
| 5月3日(木)   | 岩屋公園ウォーキング |
| 6月4日(日)   | ほたるウォーキング  |
| 9月27日(日)  | 早春ウォーキング   |
| 10月25日(日) | 秋祭りウォーキング  |
| 11月1日(日)  | 秋祭りウォーキング  |
| 11月7日(土)  | 早春ウォーキング   |

●ウォーキングへの参加はJRが便利です!  
ウォーキング王国 東峰村

●抽選で記念品が当たる東峰村ウォーキングカードを販売しています。  
抽選品は抽選会当日の抽選。抽選会場は抽選会場にてご確認ください。

●問合せ先:東峰村企画振興課 TEL:0946-74-2311

棚田の石垣を見るのもよし。村を丸ごと楽しむのもよし。「歩王」になって、山里をかつ歩する気分は最高である。



# 福岡県うきは市つづら棚田周辺

## 「森林セラピー基地」の認定を追い風に 棚田と森林へ人を呼び込む

DATA

- ・名称：「つづら棚田の散歩道」 ・主催者：うきは市
- ・開催場所：福岡県うきは市つづら棚田地区
- ・交通アクセス：博多駅からJR鹿児島本線でJR筑後吉井駅下車（特急利用で約60分）。つづら棚田へ直接行く場合は、JRうきは駅下車タクシー15分程度
- ・開催時期：毎月 ・問い合わせ先：うきは市農林商工観光課 TEL：0943・75・4975
- ・コースの長さど所要時間：1.8km、3km、4km、10kmも 2～4時間
- ・参加費：案内人10弁当・お茶付きで2000円。個別の場合必要あれば、弁当1000円。案内人は2～10人に対し、ガイド1人5000円。
- ・参加資格及び定員：最大1300人
- ・コースマップ：有 ・ガイド：有 ・農産物販売：有（時期による）

平成21年からスタートした福岡県うきは市の「つづら棚田の散歩道」。日本の棚田百選の一つ、つづら棚田を中心に周辺の森なども歩く。なんと開催時期は毎月。しかも個別対応もしてくれるという全国でもほかに例のない取り組みである。

平成20年4月、うきは市は黒木町とともに福岡県内初の「森林セラピー基地」に認定されたことをきっかけに、森林と棚田を組み合わせたウォーキングを企画し、「癒しの空間」として棚田地域を発信しはじめた。「森林セラピー基地」とは、林野庁と国土緑化推進機構が平成18年から、科学的に心身ともに癒し効果があることが証明された森林を認定するプロジェクトで、現在全国でも38カ所のみ。



写真上は「森林セラピー弁当」を作る女性たち。写真下は、「森林セラピーランチ」。写真右は、棚田に向かってやまびこ



うきは市は、平成7年から「つづら棚田彼岸花めぐり」を開催していたが、そこに「森林セラピー基地」の認定が加わったことで、年間を通して棚田と

森林を味わうウォーキングコースを設定し、大々的に取り組みはじめた。

うきは市認定の森林セラピーガイド「癒しの旅先案内人」も養成し、現在42

人が活動し、新たに15人が養成中とのこと。事前に予約すれば、「癒しの旅先案内人」によるさまざまな話も楽しめるというわけだ。もちろん、地図を片手に自分で歩くのも良い。

また、地元の食や体験、また宿泊も堪能してほしいと、「森林セラピー基地マネージャー」が、個々のウォーキングプランや旅プランを提案してくれる。ウォーキングでの昼食には、地元女性たちの手作り弁当「森林セラピー弁当」、またマクロビオティック・レストランでは「森林セラピーランチ」もあり、大好評だ。

平成21年は、すでに4月29日を幕開けに、「つづら棚田の散歩道」を気軽に体験

できるツアー「森林セラピーウィーク」が6月、7月も1週間に渡り開催され、すでに大勢が参加している。今年度は3月まで毎月開催が決まっている。

棚田や森林のウォーキングに本格的に取り組んだことで、地域は新しい山村振興と観光産業等の活性化ができたという。森林とともにある棚田地域を丸ごと「癒しの空間」としてとらえ、健康やウォーキングブームにとどまらず、従来から力を入れてきた食や体験なども包括することで、多くのファンを獲得し、また魅了させている。

わたしたちが「癒しの旅先案内人」です！



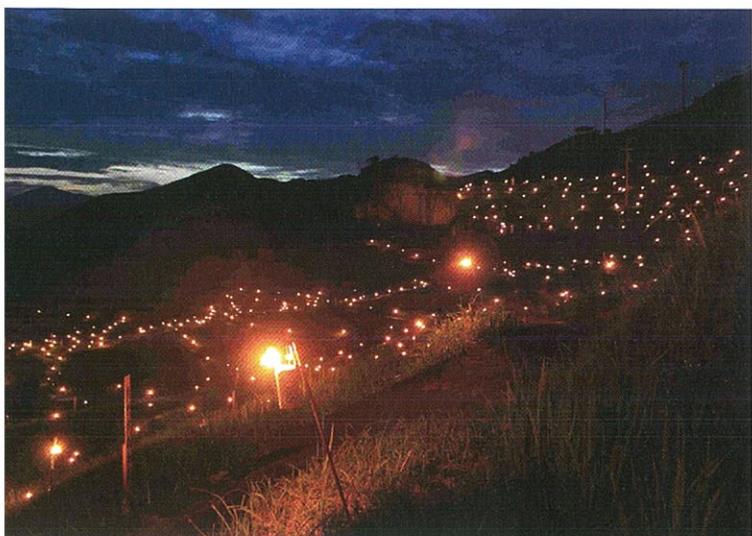
# 三重県熊野市丸山千枚田ほか

## 丸山千枚田の伝統行事

### 「虫おくり」で地域みなさんと歩く

- ・名称：「丸山千枚田の虫おくり」 ・主催者：紀和町ふるさとボランティア
- ・開催場所：三重県熊野市（旧紀和町）丸山千枚田
- ・交通アクセス：名古屋駅からJR特急南紀利用、熊野市駅（約3時間）バスにて紀和庁舎前下車 コミュニティセンターからシャトルバスにて10分
- ・開催時期：7月上旬（H21年は7月11日（土）開催）
- ・問い合わせ先：熊野市紀和総合支所 地域振興課 TEL：0597-97-1115
- ・コースの長さ所要時間：通り峠ウォークは約2km/約1時間。虫おくりそのものは約1km/約30分
- ・参加費：紀和歴史探訪大人1000円・小人700円（小中学生・幼児無料）/お弁当600円（希望者のみ）虫おくりは無料。
- ・参加資格及び定員：丸山千枚田オーナー及び千枚田を守る委員会/地元小中学校の児童生徒及びその保護者/一般
- ・コースマップ：有 ・ガイド：有 ・農産物販売：無

DATA



「虫おくり」行事として、丸山千枚田のなかを歩く催しを平成16年度から行っている三重県熊野市（旧紀和町）。昭和28年まで実際に丸山地区で行われていた伝統行事を熊野古道の世界遺産登録を記念に、地域のボランティアグループが復活させた。

丸山千枚田の豊作を願っている。地域の子どもたちがお寺でお札をもらい、松明と太鼓、鐘などを手に「虫おくり殿の通りだ〜い」と大きな掛け声で千枚田のなかを練り歩く。農家の人たちの思いのもとに実施されてきたという。

現代の村おこしと伝統行事が見事にマッチし、新しい息吹を千枚田にもたらしている丸山地区に注目！



写真右…千枚田へ北山砲が向けられ準備が進む。写真左…紀和歴史探訪ではトロッコにも乗って、子どもたちも大喜び。

11日（土）に熊野古道世界遺産登録5周年を記念して、新たな試みが行われた。「丸山千枚田の虫おくり&紀和歴史探訪&夕暮れの通り峠ウォーク」をセットにしたのである。さらに丸山千枚田に1000個の松明を灯し、行事の最後は、参加者全員のカウントダウンで北山砲を打ち、締めくくるといふ今までにない演出が行われた。

紀和歴史探訪は15時半にスタート。鉱山資料館見学ののち、坑道のなかを歩いたり、トロッコに乗ったり。千枚田オーナーら25名が参加したというが、地域を知ってもらう良い機会になったとのこと。トロッコで一昔前にタイムスリップした後は、熊野古道「通り峠」をウォーク。峠にある展望台から千枚田の絶景を堪能した。そして休む間もなく、丸山千枚田での虫おくり行事に参加したというが、そこで待っていた1000個の松明の火にみな驚き、疲れが癒されたとか。

松明は、あぜに4m間隔で高さ70cmほどの鉄筋を立て、そこに灯油を入れた空き缶を下げ、麻紐に火をつけて灯したというが、あまりの美しさに地元のおじいちゃんおばあちゃんも大感激。来年は千枚田の枚数1340枚に合わせ、1340個の松明を灯したいと力が入る。今年の虫おくりの参加者は約1000人だったが、来年はもっと大勢に見てもらいたいという。

千葉県鴨川市、NPO法人大山千枚田保存会が主催する「里山のんびりウォーク」は少人数向け。20名定員で、ガイドがついて歴史散策と環境観察をしながら4時間かけて10kmを歩くというもの。平成19年から始まり、毎年10月に開催されている。

午前は大山地区の歴史散策を行い、午後からは鴨川の上流から中流にかけて水質やそこに生息する生物の変化を調べながらの散策（内容は生物観察、バックテストによる水質調査、釣り）を行う。単純に地域の良さを観るだけではなく、農業と地域の環境について考え、体験してもらう企画を考えたとのこと。

こうしたウォーキングを開催したことで、ガイドスタッフになった地元住民の人が、自分の山でも体験ができないかなど、積極的にいろいろな提案をしてくれるようになったという。

また同保存会では、毎年「オーバーナイトウォーク」として、夜に勝山漁港を出発し、林道を中心に夜通し歩き続けるナイトウォーキングも開催している。このコースは、源頼朝が戦に敗れて三浦半島から逃れてきた道だとか。ユニークな企画もNPOならでは。

そのほか、同地区にあるひらつか地域活性化協議会では「ひらつか地区ハイキングマップコース」を作成し、途中大山千枚田を通る13kmのコースのほか、5km、10kmと3つのハイキングコースが用意されている。

## 千葉県鴨川市大山千枚田周辺 地域の環境観察も。限定20名で行く 「里山のんびりウォーク」

DATA

- ・名称：「里山のんびりウォーク」
- ・主催者：NPO法人大山千枚田保存会
- ・開催場所：千葉県鴨川市大山千枚田とその周辺
- ・交通アクセス：JR鴨川駅よりバス「平塚本郷行き」釜沼下車 徒歩20分で棚田倶楽部へ。もしくはJR鴨川駅よりタクシーで30分
- ・開催時期：10月 ・問い合わせ先：NPO法人大山千枚田保存会 TEL：04・7099・9050
- ・コースの長さ所要時間：10km 4時間
- ・参加費：1000円 昼食別途500円 ・参加資格及び定員：20人
- ・コースマップ：無 ・ガイド：有 ・農産物販売：無



愛媛県内子町では、泉谷地区棚田を守る会、御祓自治会を中心に結成した実行委員会主催で「うちこ自然浴ツアー」が実施されている。平成12年にスタートし、昨年までは「泉谷の棚田」や田羅里大権現など地区の観光地約1.5kmを約1時間で歩き、ガイドも4力所について理解を深めるスタイル。棚田をはじめ周辺の史跡の案内を行うことで、地域文化の発信ができ、山村地域と都市住民との交流が深まったという。

今年も9月6日（日）に開催予定だが、10回目を記念して棚田のなかでゆっくり過ごしてもらおうと「泉谷の棚田」を拠点にしたツアーへと刷新。棚田のなかに建つ水車小屋で棚田米のおにぎりを食べてもらったり、棚田を自由に見てもらおうと3時間ほどが予定されている。

棚田米の予約販売や農産物販売もあり、ぐっと棚田が身近になりそう。

新潟県津南町では毎年秋、日本の農村景観百選の結東集落石垣田をはじめ、その周辺を歩く「やすらぎウォーク」が平成7年より開催されている。推定樹齢500年以上の大板の木や、新潟の橋50選の「吊り橋」見倉橋」など、秘境・秋山郷の魅力を堪能できる。

コースは、5kmと10kmの2種類。いずれもブランド米・コシヒカリで作ったおいしいおにぎりやキノコ汁等の昼食をほさんで約5時間と存分に秋山郷を満喫する。

今年と来年は、JRが企画する新潟（来年は信州）ディスプレイネーションキャンペーンとの提携で、越後湯沢駅からの送迎があり、参加しやすくなりそう。お問い合わせを。

## 新潟県津南町結東集落石垣田周辺

### 秘境・秋山郷 を歩く 「やすらぎウォーク」



- ・名称：「やすらぎウォーク」 ・主催者：津南町観光協会
- ・開催場所：秋山郷：見倉・結東地区内
- ・交通アクセス：越後湯沢駅よりタクシーもしくは越後交通バスにて津南（約60分）
- ・開催時期：10月中旬
- ・問い合わせ先：津南町観光協会 TEL：025・765・5585  
※新潟（信州）DC連携事業の詳細は津南町役場地域振興課 TEL：025・765・3115へ。
- ・コースの長さ所要時間：5km、10km 両コースとも昼食を含め、約5時間
- ・参加費：2000円 ・参加資格及び定員：50人（最小催行人員10人）
- ・コースマップ：有 ・ガイド：有 ・農産物販売：有

## 愛媛県内子町泉谷の棚田周辺

### 今年で10回目。 都市との交流 「うちこ自然浴ツアー」



- ・名称：「うちこ自然浴ツアー」
- ・主催者：内子自然浴ツアー実行委員会（泉谷地区棚田を守る会、御祓自治会、内子町）
- ・開催場所：愛媛県内子町北表（泉谷地区周辺地域）
- ・交通アクセス：松山駅からJR予讃線五十崎駅（特急約30分）下車。ツアー出発地点（五十崎自治センター）まで徒歩30分。泉谷の棚田までは五十崎駅からタクシー利用で30分
- ・開催時期：例年は7月であるが、平成21年は9月6日（日）開催
- ・問い合わせ先：愛媛県内子町役場 町並・地域振興班 TEL：0893・44・2118
- ・コースの長さ所要時間：昨年までは約1.5km約1時間 今年も3時間
- ・参加費：3000円（お米付き予定） ・参加資格及び定員：約60人
- ・コースマップ：無 ・ガイド：昨年4人 ・農産物販売：有

# 石川県輪島市金蔵地区 集落で結成したNPOが主催 「金蔵五カ寺めぐり」



石川県輪島市といえば、白米の千枚田ばかりではない。市内随所に棚田が見受けられ、輪島市町野町金蔵もそんな一つ。能登半島のほぼ中心部に位置し、昔から文化が進んだ歴史ある地区で棚田の田園風景が広がっている。

人口約180人の地区ながら、平成12年に小学校の廃校を機に「金蔵学校」という、集落の中心となるべく地域活性化の組織を発足。平成15年にはNPOを取得し、NPO法人「やすらぎの里 金蔵学校」として、活動を行っている。

この金蔵集落には、中世から続く五カ寺があり、これらを見て回れる「金蔵五カ寺めぐり」コースなどを設置し、多くの人が自由に散策を楽しんでいる。

また、金蔵学校では、お寺の回廊を活用したオープンカフェ「木の音」やお米や桜のオーナー制度、棚田のなかに家々が点在する懐かしい農村風景に3万個の口ウソクを灯す「金蔵万燈会」(毎年8月16日の夜開催)などを実施し、年間8000人ほどが訪れている。



- DATA**
- ・名称: 「金蔵五カ寺めぐり」
  - ・主催者: NPO法人「やすらぎの里 金蔵学校」
  - ・開催場所: スタート地点は正願寺
  - ・交通アクセス: のと鉄道穴水駅から路線バス穴水輪島線で道の駅輪島(輪島駅前)下車、路線バス町野線で町野下車、タクシー利用で5分
  - ・開催時期: 5~10月
  - ・問い合わせ先: 観光に関しては輪島市観光課  
TEL: 0768・23・1146
  - ・コースの長さ所要時間: 約2km 約50分
  - ・参加費: なし ・参加資格及び定員: 特になし
  - ・コースマップ: 有 ・ガイド: 無
  - ・農産物販売: 有「金蔵米(きんぞうまい)」、日本酒「米蔵金」など

静岡県松崎町の「伊豆松崎なまこ壁と桜のツーデーマーチ」は、1日目は10km、20km、30kmコース、2日目に8km、15km、20kmのコースが開催されるという2日間のウォーキングイベント。平成12年から伊豆早春フラワーウォーキング実行委員会が主催し、毎年、松崎町全域でさまざまなコースが設けられてきた。松崎町には「なまこ壁」(民家・土蔵などの外壁の1つの様式)が多く残っており、これらを見て歩き、桜など花々を楽しめるウォーキングだ。

石部の棚田のなかを歩くコースは、1日目の20kmと30kmコースに平成14年から加えられた。ちょうど4月上旬の開催ゆえ、桜や田植え前の田んぼを使った花畑なども楽しめる。今年で10回目。回を重ねることで、参加者が増え、町の魅力が伝えられているとのこと。今年の参加者は20km92名、30kmは65名と長い距離ながら大勢が参加している。松崎町は来年度、第16回全国棚田サミット開催地。棚田やなまこ壁にも注目あれ!



## 静岡県松崎町石部の棚田へ 20km、30kmを踏破! 「伊豆松崎なまこ壁と桜のツーデーマーチ」

- DATA**
- ・名称: 「伊豆松崎なまこ壁と桜のツーデーマーチ」
  - ・主催者: 伊豆早春フラワーウォーキング実行委員会 ・開催場所: 静岡県松崎町全域
  - ・交通アクセス: 三島駅より伊豆箱根鉄道で修善寺駅下車(約40分)。そこから「松崎」行きバスで「松崎」下車(約100分)。または伊豆急下田駅から「松崎・堂ヶ島」行きバス「松崎」下車(約50分)
  - ・開催時期: 4月第1土・日曜日 ・問い合わせ先: 松崎町企画観光課 TEL: 0558・42・3964
  - ・コースの長さ所要時間: 20km/4時間 30km/6時間 (ほかにもコース有)
  - ・参加費: 大人1500円 高校生1000円 中学生以下300円 ・参加資格及び定員: 特になし
  - ・コースマップ: 有 ・ガイド: 無 ・農産物販売: 無

奈良県明日香村の歴史的风土の特徴ともいえる「神奈備の郷」の棚田や名所・旧跡を巡りながら、旬の農作物の収穫体験も楽しめる盛りだくさんのイベント。今年も年3回開催され、すでに4月は終了したが、8月、11月にも開催される。開催ごとに異なるコースが10km程度で設定されているのも楽しみ。参加者はおおむね4時間以上かけて歩き、散策のほか、参加したい体験などを選んで明日香村をまるごと堪能する。

平成19年からスタートしたが、歴史ファンだけでなく、農業体験に関心のある親子連れなど新しい観光客の発掘にもつながっているという。また、収穫体験の会場となった集落では、住民の輪が生まれ、参加者との交流によって地域も活性化してきたとのこと。

ちなみに奈良県では「棚田を含む中山間地域が有する水源涵養や土砂災害の防止、美しい景観保全などの多面的な役割を保全するため、地域の住民活動の活性化や都市住民の参加による棚田の保全活動を推進するきっかけとして「農山村まるごと収穫体験&ウォーク」の実施を支援している」とのこと。明日香村をはじめ、奈良県全域でさまざまな「まるごと体験ウォーク」が行われ、交流と活性化が進んでいる。

## 奈良県明日香村全域 歴史ファン、農村ファンも集まる 「明日香まるごと体験ウォーク」

- DATA**
- ・名称: 「明日香まるごと体験ウォーク」
  - ・主催者: 明日香村
  - ・開催場所: 奈良県明日香村内
  - ・交通アクセス: 近鉄あべの橋駅から「吉野行」で飛鳥駅へ(急行で約45分)。
  - ・開催時期: 今後は平成21年8月8日(土)、11月3日(祝)
  - ・問い合わせ先: 明日香村地域づくり課  
TEL: 0744・54・3351
  - ・コースの長さ所要時間: 約10km 4時間~
  - ・参加費: 参加無料(収穫体験等は有料)
  - ・参加資格及び定員: 特になし
  - ・コースマップ: 有 ・ガイド: 無 ・農産物販売: 有



京都府福知山市毛原の棚田（旧大江町）では、平成9年から5月と9月に「棚田農業体験ツアー」を実施し、都市と農村の交流を図ってきた。毎年1000人を越す人々が集まる人気のツアーだが、ジョイント企画として、平成19年度からはじまったのが「元伊勢と棚田を歩く」ウォーキングイベント。農業体験以外にも福知山市（旧大江町）に関心を持ってもらい、交流を深めようと同日に開催されるようになった。

ツアーは50人限定。ガイドがつき、毛原の棚田のなかを歩くほか、地域の名所である元伊勢内宮皇大神社や天の岩戸、また参勤交代が行われた石量などを巡るほか、地域の草木の説明もしてくれる。ガイドは現在3名の方が観光ボランティアとして担当しているが、今後はさらに増やしていきたいという。

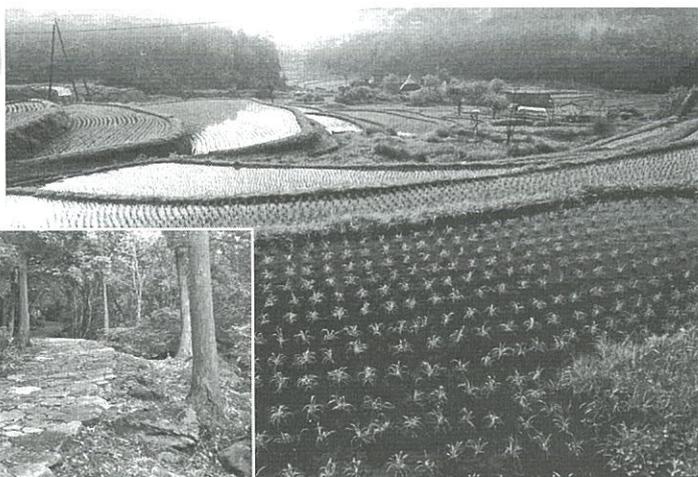
今年9月12日から13日開催の自然公園ふれあい全国大会では、この「元伊勢と棚田を歩く」コースがエコツアーの一部として拡大バージョンで実施されることになっている。

ちなみに、棚田のある毛原地区は、企業等と連携したモデルフォレスト運動を展開し、周辺の景観づくりにも取り組んでいる13戸の集落。そのほか、棚田で酒米を作って地酒を醸造し、ニューヨーク等でも好評を博するなど、さまざまな活動が行われている。これらが評価され、平成20年度には京都府文化的景観に選定された。

## 京都府福知山市毛原の棚田周辺

### 棚田農業体験ツアーと同時開催 「元伊勢と棚田を歩く」

- 名称:** 「元伊勢と棚田を歩く」  
**主催者:** 福知山観光協会大江支部  
**開催場所:** 福知山市大江町内宮～毛原  
**交通アクセス:** JR福知山駅より、北近畿タンゴ鉄道にて大江山口内宮駅（約20分）  
**開催時期:** 毎年5月、（9月）  
**問い合わせ先:** 福知山観光協会大江支部  
 TEL: 0773・56・1102（福知山市総務部大江支所内）  
**コースの長さ**と**所要時間:** 約7km 3時間  
**参加費:** 弁当申込者実費（+αを今後予定している）  
**参加資格**及び**定員:** 50人  
**コースマップ:** 無 ・**ガイド:** 有 ・**農産物販売:** 無



平成25年に第19回全国棚田サミットの開催予定地の和歌山県有田川町あらぎ島でも棚田ウォーキングが予定されている。有田川町のシンボル「あらぎ島」。四季折々に変化する扇状に広がったその美しい姿を堪能しながら、江戸時代に大庄屋が行った水路工事の様子を地元語り部が話してくれるという、贅沢なウォーキングが練られている。あらぎ島の中に入ってしまうと、世界に一つしかない扇形の棚田の全体像が望めないことから、あらぎ島の周辺を歩くウォーキングになりそうだ。

ちなみに現在、あらぎ島では、5月田植え体験、9月キャンドルイルミネーション、10月稲刈り体験、11月花火大会（あらぎ島が予定されている）。

## 和歌山県 有田川町あらぎ島

語り部による江戸時代の話も聞けるウォークを開催!



- 名称:** 「棚田ウォークinあらぎ島2009」  
**主催者:** 有田川町役場（清水行政局産業課）・有田川町観光協会清水支部  
**開催場所:** 有田川町三田・清水地内  
**交通アクセス:** 和歌山駅よりJR特急利用で藤並駅（約30分）へ。駅前より路線バスで三田停留所下車（フリー乗降可能）（約1時間）。あらぎ島展望所まで徒歩すぐ。  
**開催時期:** 平成21年10月4日（日）予定  
**問い合わせ先:** 有田川町役場清水行政局産業課 TEL: 0737・25・1111（内線118）  
**コースの長さ**と**所要時間:** 約4km 2時間  
**参加費:** 小学生以上1人1000円（幼児無料）。しみずゆかりのお土産付き  
**参加資格**及び**定員:** 先着30人程度 ・**コースマップ:** 有（内容検討中）  
**ガイド:** 有 ・**農産物販売:** 検討中

## 徳島県上勝町 檜原の棚田周辺

今年9月20日初開催!  
「かみかつウォーク21' ~かみかつの棚田を歩こう~」



- 名称:** 「かみかつウォーク21' ~かみかつの棚田を歩こう~」  
**主催者:** 徳島県立高丸山千年の森指定管理者・かみかつ里山倶楽部  
**開催場所:** 徳島県上勝町大字生実（檜原の棚田周辺）  
**交通アクセス:** 徳島駅よりバス利用で横瀬西→神田停留所下車。そこから「旭基幹集落センター」へ徒歩  
**開催時期:** 平成21年9月20日（日）  
**問い合わせ先:** かみかつ里山倶楽部 TEL: 0885・44・6680  
**コースの長さ**と**所要時間:** 5kmを1種類 10kmを2種類  
**参加費:** 大人500円、子ども200円  
**参加資格**及び**定員:** 200人予定 ・**コースマップ:** 無  
**ガイド:** 無（ただし、ウォーキング協会による同行は有）  
**農産物販売:** 未定

# 棚田ウォーキングの問題点・展望(自治体の声から)

企画力が求められ、交通手段の確保が課題

イベント運営の高齢化が進み、今年取りやめたり、棚田そのものの継承が困難というところも。また長年続けているが、マンネリ化のため新しい企画を盛り込み、集客アップに努めたいという声も。一方、大人数を集客するにあたってトイレなどのインフラ整備が課題という地域もあった。さらに運営を地区やNPO法人等の住民へ移行していきたいという行政の希望も出ていた。

そして、交通対策。棚田まで最寄りの駅から送迎するバスの確保や、大型バスが入らないなど、棚田地域ならではの悩みが大きい。駐車場の確保やスタート地点等の検討など、交通手段の確保が課題となっている。

△参加者たちはマナーを▽

一方、参加者たちは棚田が生活の場であることにも気を配る必要がある。「ゴミを出す/あぜを壊す/山菜を勝手に取る……」このような悲鳴もあった。棚田ウォーキングは、里山や山里の自然だけでなく、地域の歴史や文化、さらには食まで丸ごと農村体験できる催しだ。多様な人が集まるからこそ、参加者たちのマナー向上への声かけや、棚田をより知ってもらうことで改善されていくことにも期待したい。

## 情報

### 永田博義氏「日本の棚田」写真展

棚田写真家の永田博義氏が東京と大阪で写真展を開催する。

●富士フィルムフォトサロン／東京(港区赤坂9-7-3 2F) 9月25日(金)～10月1日(木)

●富士フィルムフォトサロン／大阪(大阪市中央区備後町3-5-11) 10月23日(金)～29日(木)

※開催時間:10～19時(最終日14時迄) ※入場無料

■「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展10周年記念イベント

全国水土里ネット・都道府県水土里ネットが主催する「ふる

さとの田んぼと水」子ども絵画展が今年で10周年を迎える。それを記念して、11月7日(土)、授賞式(13時)にあわせ、ミニイベント「みんなて語ろう ふるさとの田んぼと水」(13時45分)が開催される。審査員・岸ユキさんによる絵本の朗読や歌手Yaeさんによる作品とのコラボレーションも予定。会場はスペースFS汐留(東京都港区東新橋1-1-16)。入場無料(席に限りがあり、事前申し込み要。問申:全国水土里ネットTEL:03-3234-5476 作品募集は小学生以下で9月7日メ切。詳細は、<http://www.inakajin.or.jp>

## 事務局 ニュース

事務局、長崎県雲仙市からのお知らせコーナーです

平成21年度の全国棚田(千枚田)連絡協議会の事務局を務めます長崎県雲仙市です。1年間、よろしくお願ひいたします。

介しての子どもたちの交流が、今後ますます続いていくことを強く願っております。

長崎県雲仙市は、日本初の国立公園の指定を受けて今年で75周年になる雲仙天草国立公園を有し、北に有明海、西に橘湾を臨む、自然にあふれた地域です。1359mの普賢岳を中心とする雲仙山系の水の恵みを受け、雲仙市では5月の初め頃から6月の末まで、標高約450～0mの間で、上からゆっくりと田植えをしていきます。丁寧に植えられた苗はしっかりと根付き、夏の太陽の下、日に日にその背丈を伸ばしていきます。

本年10月16日(金)、17日(土)に新潟県十日町市で第15回の全国棚田(千枚田)サミットが開催されます。1日目の午前中に連絡協議会の総会を予定しております。会員の拡大や国への要望等、前年度に引き続き取り組みをおこなってまいりますので、会員のみならず、ご意見をいただきたく、総会ならびにサミットへの参加を是非お願ひいたします。

サミットのテーマソング「棚田へ行こう」を軸とした子どもたちの交流は、作詞作曲をした宮崎県日南市と長崎市、雲仙市の子どもたちとの間のみにとどまらず、今年の第15回全国棚田(千枚田)棚田サミット開催地である新潟県十日町市の子どもたちにもまで続けることができそうです。サミットと棚田と歌を

## 編集後記

特集記事では、自治体会員担当者の方々ご協力いただきありがとうございました。棚田ウォーキングを単なるイベントで終わらせずに、新しい棚田の生かし方、見せ方として取り組んできている地域が多いことに驚かされました。伝統行事などにも新しい風が入るなど、素晴らしい活動が展開されていました。

今後随時、棚田ウォーキングに参加された感想などを募集します。もちろん、ウォーキング開催情報などもお待ちしておりますので、編集部までお知らせください。

石井里津子

棚田の保全・中山間地域活性化のための全国組織

## 全国棚田(千枚田)連絡協議会

お申し込み・お問い合わせは協議会事務局

### 長崎県雲仙市 観光物産まちづくり推進課

〒859-1107 長崎県雲仙市吾妻町牛口名714

TEL: 0957-38-3111

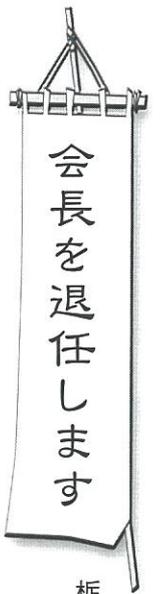
FAX: 0957-38-3514

協議会 HP:<http://www.yukidaruma.or.jp/tanada/>

## 会員募集中

新しく会員になったみなさま

- <自治体会員> 愛媛県松野町
- <団体会員> NPO法人棚田ネットワーク(東京都新宿区) 株式会社葎食(東京都大田区)
- <個人正会員> 秋沢淳雄(東京都調布市) 西沢義真(東京都浜松市)
- <個人賛助会員> 扇田久美子(大阪府大阪市) 佐々木裕而(埼玉県川越市)



会長を退任します

栃木県茂木町長

古口 達也



昨年、長崎県雲仙市・長崎市で開催された第14回全国棚田（千枚田）サミットでは、「みんなで語ろう、棚田の未来」をテーマに3日間で延べ約2800名の方が参加され、大変盛り上がりつつあったサミットとなりました。初の2市共同開催ということで、2カ所の棚田を巡るほか講演会や分科会など3日間の盛りだくさんの内容に、参加者も棚田を熱く語ることで非常に意義深いサミットとなりました。

また、地元の小・中学生、地域の方々による心温まるおもてなしや5500個もの灯りをともした棚田のライトアップなど、地域力のすばらしさを感じることができました。

これもひとえに雲仙市長・長崎市長様をはじめ実行委員各位、地域住民の皆様方の熱意の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、本協議会が発足して今年で14年が経過しますが、これまでの取り組みにより、棚田が全国的にも素晴らしいものであるとの認識が高まってきたように思われます。棚田は、日本の農山村の原風景を残しており、歴史的にとっても価値が高いものです。しかしながら、担い手の減少や高齢化などによる農地の荒廃化が進み、棚田を取り巻く状況はますます厳しさを増しております。

このようななか、中山間地域等直接支払制度も、今年で2期目の最終年度となりますが、来年度以降の3期目の実施について、いまだ不透明な状況にあります。農地の保全、そして集落を存続させていく意味でも、3期目継続に向けて国に対して継続的に要望していかなければならないと考えております。

全国棚田（千枚田）連絡協議会の一層の活動連携があれば、必ず、道は拓けるものと思います。是非、今後とも、皆様の結集をお願い致します。

最後になりますが、全国の会員各位、棚田保全にご理解とご協力を頂きました皆様、また、ご支援を頂きました国・県を始め各団体の皆様に衷心より感謝申し上げます、退任の挨拶とさせていただきます。

全国棚田（千枚田）連絡協議会会長が替わりました



会長に就任します

長崎県雲仙市長

奥村慎太郎



昨年10月16日から18日までの3日間、長崎県長崎市と雲仙市での共同開催による第14回全国棚田（千枚田）サミットには、全国よりたくさんの方々が参加をいただき誠にありがとうございました。当日は天候にも恵まれ、長崎市外海地区の大中尾棚田、雲仙市千々石町の清水棚田を見ていただきながら、地元の方々との交流や、未来を担う子どもたちが棚田と向き合う姿を目に心に焼き付けてお帰りいただいたものと思っております。

それぞれの地元では、このサミットを通して非常に多くのものを得ることができました。これを一回限りのイベントに終わらせず、今後につなげていくべきという機運が高まり、少しずつ実行に移しつつあります。

平成21年度は中山間地域等直接支払制度が2期目の満期を迎え、今まさに見直しの時期となっています。農林水産省の試算によると、昨年度の国と自治体の交付実績518億円に対し、洪水の防止に466億円、水源の涵養に347億円の効果があつたといえます。国土の約7割、耕地面積の約4割を占める棚田の重要性は今や疑うべくもありません。

中山間地域が誠意ある生産活動の場として機能しつづけるために、わたしたちにとって棚田のある生活がいかに大事なものであるか、棚田の持つ農業生産、自然環境保全、景観といった多面的な機能について、協議会として今後も訴え続けていかなければならないと思っております。

今年の第15回全国棚田（千枚田）サミットは、雪国・新潟県十日町市での開催となります。九州長崎の棚田とはまた違った地質、機能、人のかかわり方が見られるのではないかと楽しみにしております。十日町市でみなさまの交流、議論がますます活発に行われることを祈念いたしまして、会長就任の挨拶とさせていただきます。

# 第15回全国棚田(千枚田)サミットへ行こう!!

平成21年10月16日(金)～17日(土)の2日間 新潟県十日町市開催

みんなを  
誘って  
出かけま  
せんか?

テーマ 未来へつなげ美しい郷土を ～棚田からのメッセージ～

第1日目  
10月16日(金)

| 時間          | 内容                                                                  | 会場              |
|-------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 8:30～9:20   | 全国棚田(千枚田)連絡協議会理事会                                                   | 当間高原リゾート・ベルナティオ |
| 9:30～10:30  | 全国棚田(千枚田)連絡協議会総会                                                    |                 |
| 12:30～13:00 | 第15回全国棚田(千枚田)サミット開会式                                                | 松代総合体育館         |
| 13:00～14:00 | 基調講演/演題:「中山間地域の農業構造改革<br>～もうひとつの農業を考える～」<br>富山大学極東地域研究センター 教授 酒井富夫氏 |                 |
| 14:00～17:15 | 棚田見学会<br>星峠の棚田/儀明・蒲生の棚田/新田の棚田/留守原の棚田                                |                 |
| 18:00～20:30 | 全体交流会                                                               |                 |

第2日目  
10月17日(土)

| 時間          | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 会場         |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 9:00～11:00  | 分科会<br>○第1分科会:地域の自然と棚田の関わり<br>コーディネーター:三沢真一(新潟大学教授)<br>○第2分科会:皆んなで支える棚田の農業<br>コーディネーター:堀口健治(早稲田大学副総長)<br>○第3分科会:棚田と地域振興の取り組み<br>コーディネーター:伊藤忠雄(新潟大学教授)<br>○第4分科会:スローライフと棚田のつながり<br>コーディネーター:酒井富夫(富山大学教授)<br>○第5分科会:棚田と震災復興の取り組み<br>コーディネーター:金子洋二(新潟NPO協会常務理事・事務局長)<br>○首長会議:直払い制度の3期目に向け<br>コーディネーター:中島峰広(早稲田大学名誉教授) | クロス10ほか各会場 |
| 12:30～13:00 | 事例発表/森の学校キョロ口・松里小学校                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | クロス10大ホール  |
| 13:00～13:45 | 分科会のまとめ/コーディネーター 中島峰広氏                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 〃          |
| 13:45～14:15 | 閉会式/共同宣言                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 〃          |

<問い合わせ・申し込み先>

第15回全国棚田(千枚田)サミット実行委員会事務局(十日町市松代支所内)

TEL:025-597-2222  
FAX:025-597-2526

十日町市は、新潟県中越地方の山間部に位置しています。全国でも有数の豪雪地帯であり、3mを越える積雪を記録することがあります。そして美味しい魚沼産コシヒカリの生産地です。

今回十日町市で第15回全国棚田(千枚田)サミットを開催いたします。1日目は現地棚田見学会を行います。棚田見学会の会場は「星峠」「蒲生・儀明」「新田」「留守原」の棚田の4箇所です。棚田見学会は時間の関係上、1ヶ所または2ヶ所の見学となりますが、時間の許す限り棚田とそして地元住民からのおもてなしを味わっていただければと思います。

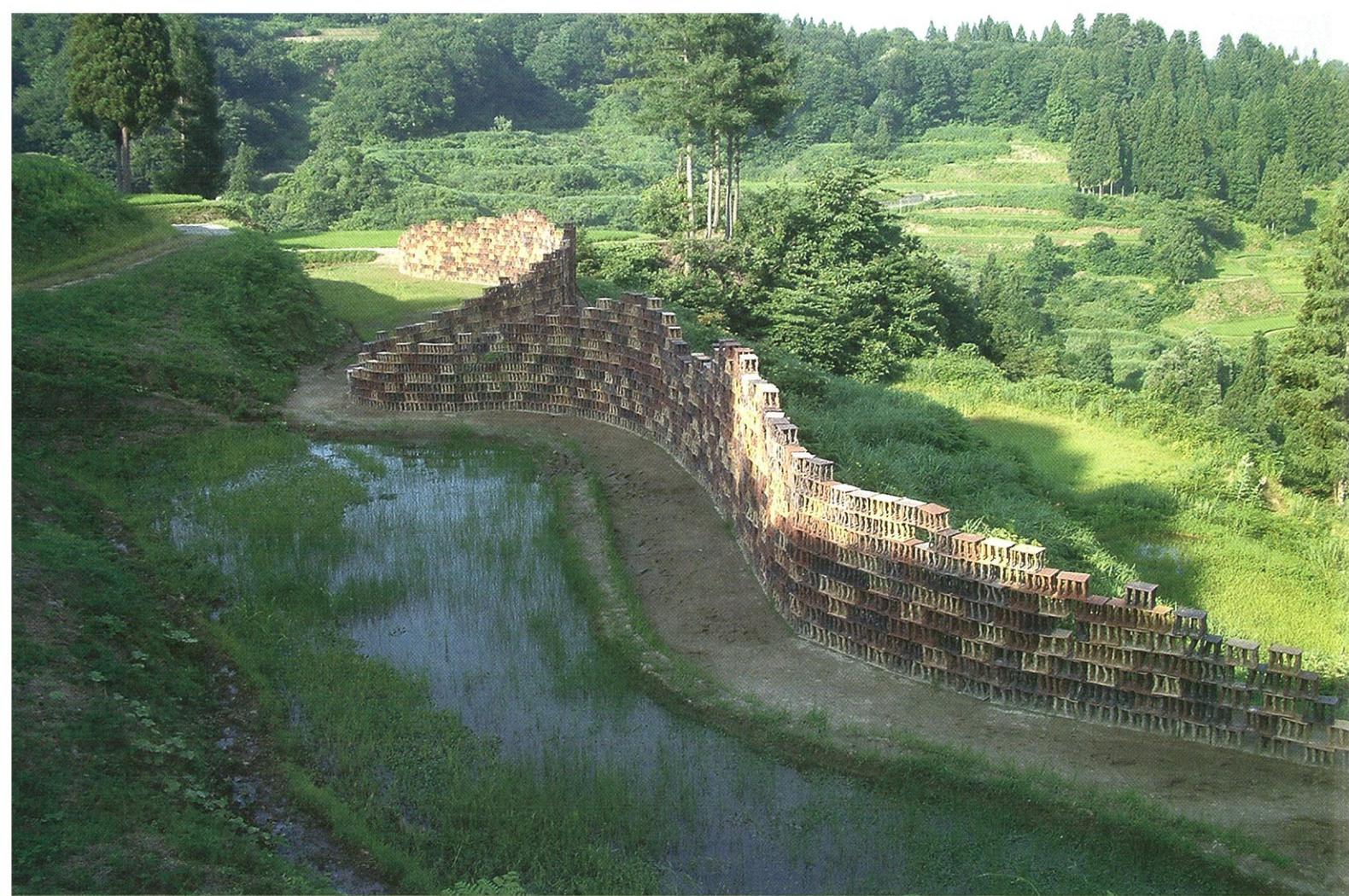
そして、夜の交流会では決して豪華ではありませんが地元食材を使った田舎料理や地元産のそば、また最近話題になっている米粉を使った料理と美味しい地酒で皆さんを歓迎したいと思っております。

2日目は分科会を開催します。「スローライフと棚田のつながり」等5つのテーマに分かれて、今後の棚田のあり方について来場者参加型のトークを皆さんにして頂きます。

サミット終了後も、希望者に十日町市を案内するエクスカッションを開催予定です。現地見学で回れなかった棚田を回るコースもありますので時間のある方はぜひお申し込みください。

10月の第15回全国棚田(千枚田)サミットにて皆様とお会いできることを、心から楽しみにいたしております。

(新潟県十日町市棚田サミット事務局)



# 大地の芸術祭

越後妻有アートトリエンナーレ

2009

大地の芸術祭は、2000年から3年に一度十日町市と津南町で開催されている国際的な現代アートの祭典です。「人間は自然に内包される」を基本理念に掲げており、作られるアート作品は地域の自然や土地の歴史・生活・文化に根ざすことが目指されています。

2000年の第1回大地の芸術祭で制作されたイリヤ&エミリア・カバコフの作品「棚田」は、ほくほく線まつだい駅からも見える実際の棚田に、農作業の様子をかたどった青や黄色の彫刻が設置され、作品を眺める展望台に伝統的な稲作の様子を詠んだテキストが吊るされているものです。棚田の風景と彫刻とテキストを一体のものとして鑑賞するこの作品は、アートがその場の持つ魅力や価値をあらためて掘り起こしたものであり、大地の芸術祭の代表的な作品となっています。

第4回展となる今回の芸術祭は、7月26日(日)から9月13日(日)まで開催しています。棚田サミットの前にも一度、夏の十日町市にお越しになってはいかがでしょうか。また、棚田サミットが行われる10月も「大地の芸術祭2009秋版」と題し、残っている作品は引き続き鑑賞していただけます。

ぜひ、棚田の風景と現代アートの作品を鑑賞しに、十日町市へおいで下さい。

(新潟県十日町市大地の芸術祭推進室)

写真上：「風のスクリーン」

写真中：「脱皮する家」

写真下：「棚守る竜神の塔」